

解剖学：感覚

41-026 皮膚感覚と受容器との組合せで正しいのはどれか。

- ① 圧覚—ルフィニ終末
- ② 温覚—パチニ小体：圧覚
- ③ 触覚—クラウゼ小体：冷覚（触覚）
- ④ 痛覚—自由終末
- ⑤ 冷覚—マイスネル小体：触覚

42-020 痛覚の受容体はどれか。

- ① 自由神経終末
 - ② マイスネル小体：触覚
 - ③ ルフィニ小体：圧覚
 - ④ パチニ小体：圧覚
 - ⑤ メルケル盤：持続的圧迫
- ※ マイスネル小体、ルフィニ小体は順応が早く、メルケル盤やパチニ小体は順応が遅く、持続的に興奮する。

⑤ = 二種類の痛覚

Aδ線維によるもの
 ・速く伝わり、鋭痛、局在が明確
 ルフィニ小体による温覚や、クラウゼ小体による冷覚も、熱可変性、冷可変性による刺激は痛みとして感じる。
 自由神経終末からのAδ線維もある。

C線維によるもの
 ・遅く伝わり鈍痛、局在が不明確
 自由神経終末のポリモーダル受容器からはC線維が出る。

42-026 感覚系と関係しないのはどれか。

1. 内側毛帯… 深部感覚、識別触覚を伝える。
- ② 大脳脚… 錐体路(運動)の通路である。
3. 蝸牛神経核… 中脳中神経(聴覚)の起細胞である。
4. 内包後脚… 運動線系、感覚線系ともに通過する。
5. 外側膝状体… 視覚の中継核で視床にある。

46-P-061 皮質覚（複合感覚）に分類されるのはどれか。2つ選べ。

- ① 二点識別覚
2. 関節位置覚
- ③ 部位覚
4. 圧覚
5. 振動覚

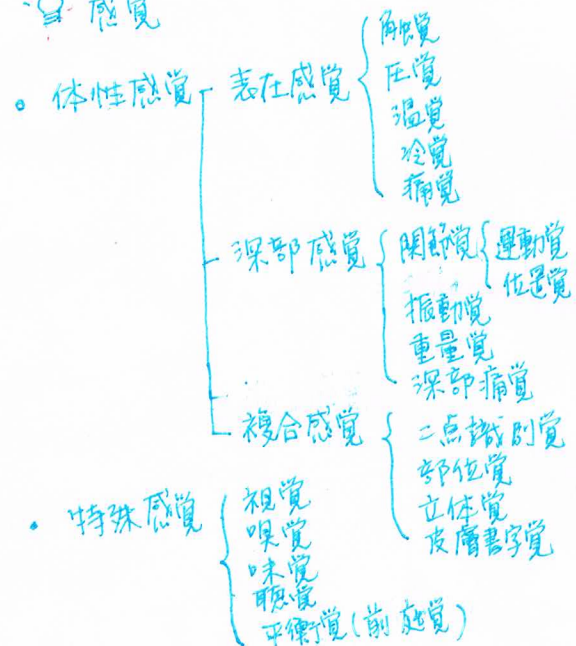
49-P-061 皮膚感覚と受容器の組合せで正しいのはどれか。

- ① 痛覚——自由神経終末
2. 温覚——Pacini(パチニ)小体：圧覚
3. 冷覚——Meissner(マイスネル)小体：触覚
- ④ 触覚——Krause(クラウゼ)小体：冷覚（触覚）
- ⑤ 圧覚——Ruffini(ルフィニ)終末

49-P-062 複合感覚に含まれないのはどれか。

1. 重量覚
2. 部位覚
3. 立体覚
- ④ 関節位置覚
5. 二点識別覚

💡 感覚



※ 複合感覚は1つつかの刺激が脳に入ることによって知覚する。個別の伝導路はない。